

取組点検指標を用いた取組確認結果（西三河・東三河地域）

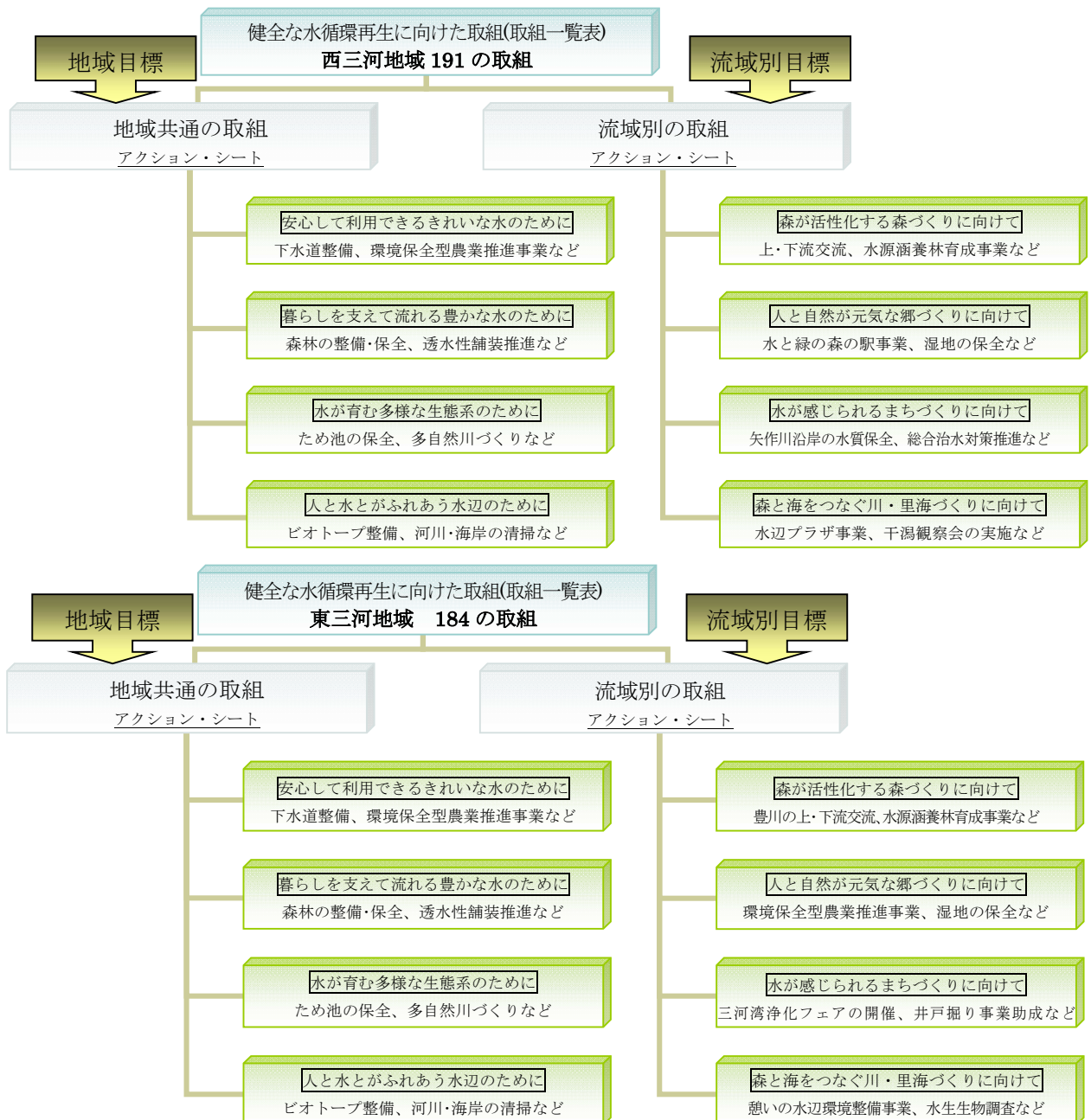
1 背景

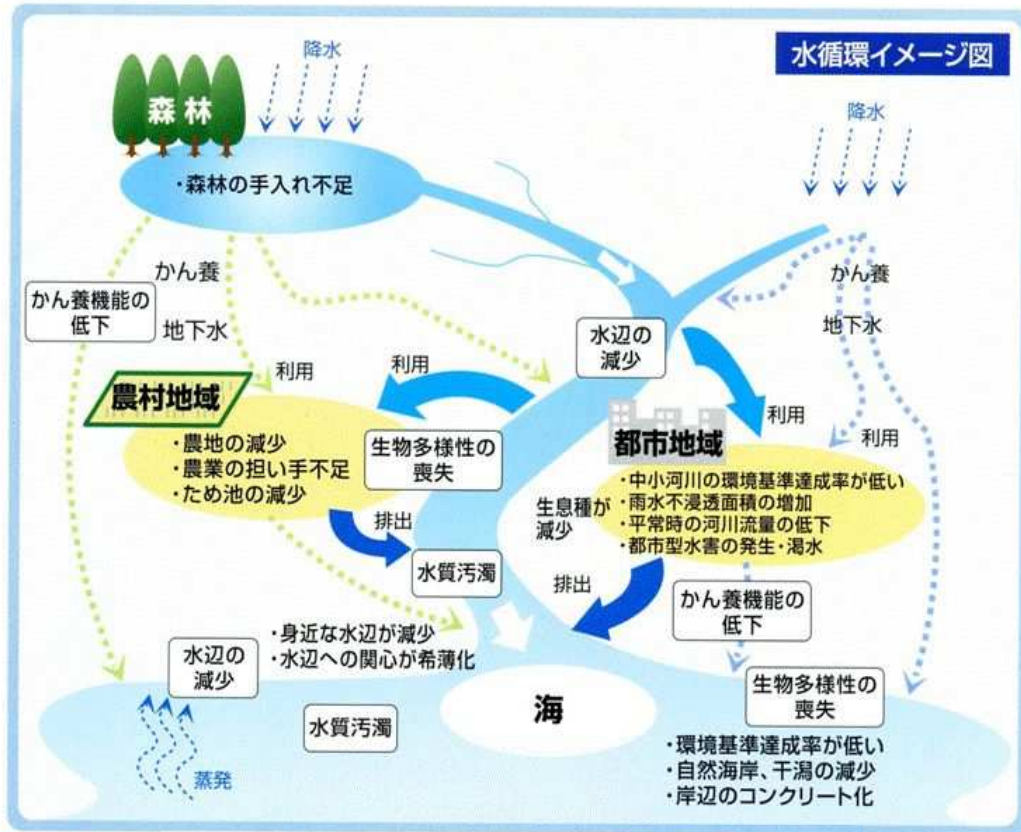
西三河並びに東三河地域水循環再生地域協議会では、行動計画の進捗状況を把握・点検するため、2008 年度に「取組点検指標」を取りまとめ、2009 年度から取組状況の確認を行っています。

「取組点検指標」は、地域で広く実施されている基盤的な取組である「地域共通の取組」と、地域に根ざした取組である「流域別の取組」が設定されています。

さらに、「地域共通の取組」は、水循環の機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」及び「ふれあう水辺」の4項目が、「流域別の取組」は、水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」及び「川、里海づくり」の4項目が設定されています。

【取組点検指標の概念】





水循環のイメージ

水循環の機能で連携

上流から下流まで流域の全体にわたって、水循環の機能で連携した総合的な取組を実施。

- ①「きれいな水」のための取組
- ②「豊かな水」のための取組
- ③「多様な生態系」のための取組
- ④「ふれあう水辺」のための取組

テーマで連携

水循環の再生につながる特定のテーマごとに関連する様々な対策を連携させることにより、対策相互の相乗効果や波及効果を生かして総合的な取組を実施。

- ①森林の整備・保全の取組
- ②農地保全の取組
- ③まちづくりの取組
- ④海づくりの取組

① きれいな水

② 豊かな水

③ 多様な生態系

④ ふれあう水辺

取組活性化のための方策

取組全体の活性化と効果的な推進を図ります。

- ・環境学習の推進
- ・情報の共有化
- ・県民・事業者・民間団体・行政等の協働
- ・取組の検証・拡充

健全な水循環を取り戻す取組の方向性

2.1 西三河地域の取組点検指標及び取組実績（2024年度）

- ・西三河地域水循環再生地域協議会構成員 42 団体により、健全な水循環機能を取り戻すため様々な取組が実施されました（取組集計結果は別表参照）。
- ・地域共通の取組について、「きれいな水」の代表的な取組である、生活排水処理施設の整備（下水道の整備等）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が年々上昇しています。また、下水道施設の高度処理の導入も進んでいます。
- ・流域別の取組については、清掃活動や湿地・湿原の保全活動、貯留浸透施設の設置などが実施されています。

2.2 地域共通の取組の進捗確認（西三河地域）

水循環再生行動計画（第4次）では、取組の進捗状況が示せるよう、地域共通の取組に目標値が設定されています。

（進捗状況）

- ・生活排水処理施設の整備（目標値：100%）は、目標年度(2030)に向け整備が着実に進んでいます。
- ・雨水浸透施設等の設置や透水性舗装の整備、ため池の保全などは、継続的に実施されています。
- ・河川及び海域いずれも環境基準の達成率は、目標（100%）を達成しませんでした。

3.1 東三河地域の取組点検指標及び取組実績（2024年度）

- ・東三河地域水循環再生地域協議会構成員 32 団体により、健全な水循環機能を取り戻すため様々な取組が実施されました（取組集計結果は別表参照）。
- ・地域共通の取組については、「きれいな水」の代表的な取組である、生活排水処理施設の整備（下水道の整備等）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が年々上昇しています。また、下水道施設の高度処理の導入も進んでいます。
- ・流域別の取組については、清掃活動や森林の整備、環境教育などが実施されています。昨年度（2024年度）より、新たな取組として「生息魚類調査を市民参加で（豊川上漁業協同組合）」「環境学習授業・課外授業（朝倉川育水フォーラム）」が実施されています。

3.2 地域共通の取組の進捗確認（東三河地域）

水循環再生行動計画（第4次）では、取組の進捗状況が示せるよう、地域共通の取組に目標値が設定されています。

（進捗状況）

- ・生活排水処理施設の整備（目標値：100%）は、目標年度（2030）に向け整備が着実に進んでいます。
- ・雨水浸透施設等の設置や透水性舗装の整備、ため池の保全などは、継続的に実施されています。
- ・河川の環境基準の達成率は、目標（100%）を達成しましたが、海域は目標（100%）を達成しませんでした。

4 その他

今年度新たにアクションシートに追加する取組はありません（2026年2月10日時点）。

西三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績										目標 値	目標 年度	指標の説明
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体 ・下水道・集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	汚水処理人口普及率(%)												
		89.2%	89.8%	90.4%	90.7%	91.2%	91.7%	92.3%	92.7%	93.3%	93.6%	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100
	下水道の整備 ・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	下水道普及率(%)												
		76.7%	77.4%	78.1%	78.5%	79.5%	80.0%	81.0%	81.4%	82.1%	82.8%	92.6%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
	高度処理施設の導入(下水道整備の内) ・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	高度処理人口普及率(%)												
		76.7%	77.4%	78.1%	78.8%	79.5%	80.0%	81.0%	81.4%	82.1%	82.8%	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
	農業集落排水施設の保全、管理 ・農業集落における尿・生活雑排水等の汚水を処理する施設を保全、維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	農業集落排水処理人口普及率(%)												
		2.9%	2.9%	2.8%	2.9%	2.7%	2.7%	2.4%	2.4%	2.3%	2.2%	3.1%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
	合併処理浄化槽の設置 ・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)												
		9.3%	9.3%	9.2%	9.2%	8.7%	8.8%	8.7%	8.8%	8.7%	8.4%	—	—	・合併処理浄化槽設置人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		合併処理浄化槽の基数割合(%)												
		34.3%	35.9%	37.2%	37.8%	38.8%	39.6%	41.3%	42.0%	42.6%	集計中	100%	2030	
	コミュニティプラントの整備 ・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	コミュニティプラント処理人口普及率(%)												
		0.1%	0.14%	0.14%	0.12%	0.12%	0.12%	0.12%	0.12%	0.12%	0.12%	0.11%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
	干潟・浅場造成事業 ・水質・底質の悪化により低下した漁場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	干潟・浅場造成面積(ha)												
	6.8ha	17.9ha	17.4ha	16.7ha	3.6ha	2.6ha	1.8ha	6.1ha	25.1ha	25.0ha	471ha	2014～2038	干潟・浅場を造成した面積	
河川等公共用水域水質監視 ・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	河川(BOD)の環境基準達成率(%)													
	96%	95.8%	95.8%	95.8%	95.8%	100%	95.8%	91.7%	100%	91.7%	100%	毎年	・河川BOD(西三河地域のみ)の環境基準達成率 ・海域COD(衣浦湾のみ)の環境基準達成率	
	海域(COD)の環境基準達成率(%)													
	67%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	100%	毎年		
水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	実施箇所数													
	65箇所	90箇所	80箇所	47箇所	87箇所	3箇所	—	66箇所	48箇所	47箇所	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
	延べ参加人数(人)													
	1,354人	1,863人	494人	257人	1,479人	12人	—	872人	552人	437人	前年増	単年		
流域モニタリング一斉調査 ・住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	実施箇所数													
	106箇所	87箇所	80箇所	47箇所	91箇所	45箇所	232箇所	239箇所	199箇所	189箇所	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数	
	延べ参加人数(人)													
	443人	555人	494人	257人	306人	191人	596人	603人	562人	415人	前年増	単年		
伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化) ・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	施策実施状況(件)													
	217件	218件	219件	219件	219件	219件	219件	221件	221件	221件	継続実施	継続実施	各機関の施策実施状況	
三河湾環境再生プロジェクト 県民、NPO、企業、関係団体、教育機関、行政等が一体となって、三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高めるため、「三河湾環境再生(ネットサマーアップクラブ)」と連携・協働し、三河湾の環境再生について関心を深める事業を実施するとともに、NPO等の活動支援を行う。	サポーター数(人)													
	375人	649人	1,025人	1,284人	1,924人	2,126人	2,295人	2,724人	3,313人	3,699人	継続実施	継続実施	サポーター数	
河川・海岸の清掃 ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施回数(回)													
	521回	488回	523回	526回	205回	144回	129回	150回	160回	173回	前年増	単年		
	実施箇所数													
	207箇所	220箇所	206箇所	231箇所	174箇所	135箇所	104箇所	124箇所	127箇所	134箇所	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
	延べ参加人数(人)													
	52,486人	69,072人	62,239人	63,795人	37,064人	13,854人	9,880人	15,394人	15,310人	14,905人	前年増	単年		

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績										目標値	目標年度	指標の説明
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			
豊かな水	森林整備の促進	間伐面積(ha)										4,000ha(県域)	2016～2020	間伐を実施した面積
	・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	1,252ha	1,595ha	1,389ha	1,292ha	1,282ha	1,326ha	1,369ha	1,248ha	1,214ha	1,058ha			
	雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)	雨水貯留施設の数										継続実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	・降雨時における雨水流出抑制を図ることにより河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不用品となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	84箇所	56箇所	37箇所	59箇所	39箇所	430箇所	41箇所	75箇所	78箇所	91箇所	継続実施	単年	
	透水性舗装の推進	整備面積(m ²)										継続実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積
	・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるO ₂ 削減など環境に配慮したまちづくりを行う。		27,089m ²	38,879m ²	24,085m ²	48,008m ²	64,209m ²	31,951m ²	15,781m ²	14,983m ²	15,668m ²			
ため池の保全	整備箇所数										継続実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数	
・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	57箇所	59箇所	21箇所	19箇所	18箇所	5箇所	7箇所	23箇所	51箇所	37箇所				
多様な生態系	多自然川づくり	整備延長(km)										継続実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km	4.0km	2.0km	3.0km			
	干潟・浅場造成事業(再掲「きれいな水」)	干潟・浅場造成面積(ha)										-	-	干潟・浅場を造成した面積
	・水質・底質の悪化により低下した浅場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	6.8ha	17.9ha	17.4ha	16.7ha	3.6ha	2.6ha	1.8ha	6.1ha	25.1ha	25.0ha			
	ため池の保全(再掲「豊かな水」)	整備箇所数										継続実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	57箇所	59箇所	21箇所	19箇所	18箇所	5箇所	7箇所	23箇所	51箇所	37箇所			
河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)										前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	521回	488回	523回	526回	205回	144回	129回	150回	160回	173回				
水生生物調査(再掲「きれいな水」)	実施箇所数										前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	65箇所	90箇所	80箇所	47箇所	87箇所	3箇所	-	66箇所	48箇所	47箇所				
ふれあう水辺	多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)	整備延長(km)										継続実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km	4.0km	2.0km	3.0km			
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)										前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	521回	488回	523回	526回	205回	144回	129回	150回	160回	173回			
		実施箇所数										前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
		207箇所	220箇所	206箇所	231箇所	174箇所	135箇所	104箇所	124箇所	127箇所	134箇所			
	延べ参加人数(人)										前年増	単年		
	52,486人	69,072人	62,239人	63,795人	37,064人	13,854人	9,880人	15,394人	15,310人	14,905人				

西三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績										
				2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
矢作川等流域 【課題】 ○開伐等の維持管理不足が山地崩壊、流水発生の原因のひとつと考えられる。 ○手入れ不足の人工林の増加が生物多様性にも影響を与えている。 ○ダムや堰などが多く設置され、連続性の分断や流況の変化による生物の生息環境に変化をもたらしている。 ○沿岸域の一色干潟は三河湾の浄化のため、将来にわたって保全が必要である。	森づくり	水源地域の森林整備 ・(公財)矢作川水源基金の水源地対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備に要する費用の助成を行う。 ・ おと川リバーヘッド大作戦【2019終了】 ・森林の除間伐、枝打ち、植樹等を行う。 ・ 新・豊田市100年の森づくり構想 ・平成19年3月に「豊田市森づくり条例」を制定。 ・平成30年3月、100年先を見据えた森づくりの方向性を示した「新・豊田市100年の森づくり構想」を策定した。 ・ 自然環境高価値圏の実施 ・気候・気象、里山、植物、菌類、動物など自然環境に関する基礎的な調査を行う。 ・ 額田木の駅プロジェクトの実施 ・岡崎市の森林で間伐した木材を額田木の駅プロジェクト実行委員会事務局が回収し、木材を地域通貨と交換する。 ・地域通貨は実行委員会が承認された商店などで使用する。	岡崎市、豊田市、刈谷市、豊田中、豊田市、西尾市、豊田市、豊田高田、おとし市、豊田新、豊田高田 (※報告機関:豊水資源課)	間伐面積 (ha)	166.7ha	220.0ha	249.3ha	75.3ha	150.8ha	85.6ha	98.7ha	90.8ha	50.7ha	119.3ha
		参加人数 (人)	121人	93人	96人	80人	97人	-	-	-	-	-	-	
		間伐面積 (ha)	913ha	1,132ha	1,099ha	1,069ha	900ha	948ha	1030ha	946ha	944ha	829ha		
		調査実施の有否	有	有	否	否	一部実施	一部実施	一部実施	一部実施	未実施	実施		
		出荷量	1,303t	924t	1,001t	1,000t	1,001t	1,100t	1,150t	1,133t	856t			
		出荷者数	105人	108人	112人	112人	111人	109人	31人	登録者:110人 実施者:26人	登録者:109人 実施者:21人			
		参加者数	12人	6人	12人	17人	30人	44人	40人	森の仕事体験会:15人 森の女子会:15人 きこり塾(基礎5日):10人 (実践3日):9人	森の仕事体験会:14人 森の女子会:14人 きこり塾(基礎5日):10人 (実践3日):9人			
		参加人数	43人	50人	115人	66人	1000人以上	-	-	-	-			
		保全活動回数(日)	24日	23日	26日	26日	21日	22日	24日	23日	27日	27日		
		保全箇所数	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所		
	整備箇所数	-	-	-	かんがい排水事業2地区、防災 多門事業6地区を実施中	4箇所	1箇所 施工延長834m(遊歩道、植栽 整備)	遊歩道 L=350m	遊歩道 L=690m	遊歩道 340m せせらぎ水路 67m	遊歩道 98m			
	参加人数(人)	6,954人	51,953人	54,255人	46,787人	43,628人	4,366人	1,303人	1,394人	960人	833人			
	設置箇所数・筆数	30箇所	33筆	-	11.98ha	12.26ha	15.37ha	139筆	156筆	184筆	89筆			
	設置箇所数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	スクリーン数(箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	整備容量(m³)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	整備箇所	2箇所	-	-	13箇所	34箇所	50箇所	2731件	8,586㎡	11,131㎡	12,300㎡			
	貯留容量(m³)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	道路の整備延長(m)	1,272m	1,140m	990m	630m	1,050m	-	-	-	-	-			

【目標】
 ☆上下流連携した森林整備、潮や森など自然環境の保全による流域一帯の川づくり
 ☆山から海までをつなぐ鳥かえル、チョウ、トンボなど、いろいろな種類の生物の移動ルートの確保
 ☆総合学習の場として利用できる干潟など親水空間の確保
 ○水に入って泳ぎたいくなる良好な溪流・水辺環境
 <中流>
 ○水に入って遊びたいくなる良好な水辺環境
 <下流>
 ○濁りや色が気にならない
 ○水辺に近づける場所がたくさんある
 <干潟>
 ○アザリやウミナシなど生物が豊かな干潟

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績									
				2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
矢作川等流域	川・里海づくり	干潟・塩場の造成 ・漁場生産力の回復、水質浄化機能の向上を図るため、干潟塩場を造成する。	県水産課	干潟・塩場造成面積 (ha)								干潟・塩場造成面積 (ha)	
				6.4ha	4.9ha	4.6ha	3.9ha	3.6ha	2.6ha	1.8ha	6.1ha	6.7ha	6.0ha
		矢作川水辺プラザ整備事業【2018終了】	岡崎市	整備箇所数									
			3.4ha(累積)	1箇所 3.76ha(累計)	1箇所 3.88ha(累計)	1箇所	-	-	-	-	-	-	
		緩傾斜堤防の整備 ・堤防耐震化とともに、安全で人々が快適に水辺に近づけるよう堤防の緩傾斜化を図る。	西三河建設事務所	整備延長(m)								整備延長(m)	
			259m	784.4m	-	329.9m	134m	79m	600m	833m	281m	149m	
		矢作川沿岸の水質保全 ・開発時に事業者と事前協議を行い、濁水流出の未然防止に努めている。 ・流域住民交流による水質保全活動を実施する。 ・工場排水、開発工事現場、廃棄物処分場などのパトロールを実施する。	矢作川沿岸水質保全対策協議会	パトロール回数								パトロール回数	
			149回	158回	153回	154回	143回	157回	-	100回	142回	140回	
		石川・光明寺川の水質活動 ・地域の河川環境の保全に取り組む。	幸田町	実施回数(回)								実施回数(回)	
				27回	2回	2回	-	4回	5回	5回	2回	2回	2回
				実施箇所数								実施箇所数	
				22箇所	2箇所	2箇所	-	14箇所	150箇所	10箇所	3箇所	3箇所	3箇所
		水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町：豊橋河川事務所、県水大気環境課 ※観測機関：豊橋河川事務所、県水大気環境課	実施箇所数								実施箇所数	
				50箇所	70箇所	65箇所	41箇所	3箇所	3箇所	-	59箇所	35箇所	31箇所
		干潟観察会の実施 ・干潟は豊かな生態系を育むとともに、海域の水質浄化にも大きな働きを持っていることから、このような干潟の機能を学習し、干潟の保全活動につなげる。	西尾市	実施回数(回)								実施回数(回)	
				3回	3回	2回	-	2回	0回	0回	1回	1回	1回
		「水のかんきょう学校」(水質かん養林事業) ・明治用水土地改良区は、百年近く前から先人達が掲げた「水をつかうものは水をつくれ」を合い言葉に、長野県根羽村ほかで「水源の森」約525haを守り続けている。 ・この取組の一環として、小中学生を中心とした「水のかんきょう学校」を開校し、水の大切さ・水源の森の役割・水循環などを地球的な規模として考え、学ぶ機会を提供する。	明治用水土地改良区	実施回数(回)								実施回数(回)	
				39回	26回	-	-	9回	7回	6回	6回	5回	5回
		乙川サミットの開催【2019終了】 ・乙川に関係する団体(学校、漁協、美しくする会、岡崎市、愛知県、国など)が一室に会して、各団体の活動や事業を紹介し、お互いの活動に対して理解を深めるため、定期的に開催する。	岡崎市	参加者数(人)								参加者数(人)	
				36人(11団体)	19人	10人	-	(2018年度から未実施)	-	-	-	-	-
船遊び(乙川観光船事業)【2019民間事業移行】 ・観光基本計画に基づき観光振興アクションプランの重点プロジェクトの1つとして「家康公のまち」魅力創造事業で特に岡崎公園・八帖蔵通り・大樹寺周辺を結ぶエリアを岡崎観光の各拠点となる重点地区として乙川を利用した新たな観光資源として観光船を浮かべ観光客の誘致を図る。	岡崎市	参加者数(人)								参加者数(人)			
		2,098人	-	-	-	(民間事業移行のため削除)	-	-	-	-	-		
船遊び(乙川観光船事業) ・乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画(QURUWA戦略)に基づき、乙川河川敷において、観光船運航やキャンプ事業など様々な民間事業を実施することで、当該地区で「常に何か面白いことが起きている」という市民及び来訪者の感覚を醸成し、河川空間の日常的な利用を促進させる。	民間実行委員会(岡崎市)	利用者数(人)								利用者数(人)			
		-	-	-	-	-	7,207人	5,578人	1,275人	2,550人			
三河湾クルーズ「海の生き物調査隊」の実施【2019終了】 ・三河湾の現状を体感することで環境意識を高め、海の生き物観察や海のごみなどについての環境学習を実施する。	西尾市	参加者数(人)								参加者数(人)			
		94人	90人	-	-	-	-	-	-	-			

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績										
				2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
境川等流域 <small>【課題】</small> ○上流3市1町(大府市、豊明市、みよし市、東郷町)は生活排水対策重点地域に指定されており、生活排水対策の推進が必要となっている。 ○ため池は多面的な機能も持つことから、その保全を図ることが必要である。 ○総合治水対策として、雨水貯留浸透施設の設置などが必要である。 ○河川周辺の水辺は生物の貴重な生息・生育域であり、水辺に親しむ場所でもあるので、自然環境の保全・再生が必要である。	森づくり	水質調査実施育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。	愛知用水土地改良区	整備面積 (ha) 0.4ha	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	郷づくり	湿地・灌原の保全 ・除草や竹の伐採をすることで、カキツバタ群落の保護保全・増殖を図る。 ため池の保全【2015終了】 ・「跡蛤の会」が、ため池付近の清掃、ピオトープ整備、緑化活動等を実施する。	刈谷市	実施回数 2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回
	まちづくり	合流式下水道の改善【2015終了】 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	刈谷市	実施内容 新池とその周辺の清掃 う過ぎスクリーンの設置数 0 0 0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	特定都市河川浸水被害対策法に基づく取組	刈谷市、豊田市、安城市、東海市、大府市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、東郷町、東浦町、愛知県 <small>(※報告機関: 泉河川課)</small>	・貯留施設: 42,210m ³ ・透水性舗装: 63,384m ² ・浸透トレイ: 180m ・浸透柵: 30個	・貯留施設: 31,467m ³ ・透水性舗装: 88,656m ² ・浸透トレイ: 715m ・浸透柵: 94個	・貯留施設: 34,439m ³ ・透水性舗装: 33,116m ² ・浸透トレイ: 330m ・浸透柵: 88個	・貯留施設: 45,621m ³ ・透水性舗装: 65,977m ² ・浸透トレイ: 70m ・浸透柵: 1個	・貯留施設: 77,752m ³ ・透水性舗装: 66,515m ² ・浸透トレイ: 449m ・浸透柵: 62個	・貯留施設: 185,932m ³ ・透水性舗装: 1,880m ² ・浸透柵: 27個	・貯留施設: 25,402m ³ ・透水性舗装: 46,266m ² ・浸透柵: 9個	・貯留施設: 44,844m ³ ・透水性舗装: 50,773m ² ・浸透柵: 7個				
	川・里海づくり	調整池整備【2020終了】 ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。	安城市	整備容量 (m ³) 4,120m ³	—	—	30m ³	147m ³	0m ³	—	—	—	—	—
	明徳寺川の清掃活動	東浦町	実施回数 (回) 15回	17回	—	14回	11回	8回	4回	5回	6回	10回		
	水生生物調査	流域市町、県水大気環境課 <small>(※報告機関: 県水大気環境課)</small>	実施箇所数 14箇所	16箇所	6箇所	3箇所	9箇所	—	—	6箇所	7箇所	10箇所		
	油ヶ淵等	環境保全型農業推進事業 ・環境安全推進マニュアルを始めとしたGAP手法の導入を推進する。 ・持続性の高い農業に取り組むエコファーマーの育成を推進する。 (エコファーマー認定は、関連法の廃止に伴い、2023年度をもって終了し、新法に基づく、みどり認定を開始)	県農業経営課	環境安全推進マニュアル導入(産地数) 28産地	150産地	22産地	10件	—	—	11件	10件	40件	54件	
	調整池整備【2020終了】	安城市	整備容量 (m ³) 402m ³	5,064m ³	3,000m ³	5,124m ³	0m ³	0m ³	—	—	—	—		
	生活排水対策モデル地区事業【2016終了】	安城市	半習合参加人数 (人) 20人	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
アクション油ヶ淵(油ヶ淵水質浄化イベントの実施)	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水大気環境課 <small>(※報告機関: 県水大気環境課)</small>	参加人数 (人) 約130人	230人	840人	240人	650人	約470人	約450人	約500人	約800人	約800人			
水田貯留施設の整備	安城市	整備箇所 0	—	—	—	—	—	—	8,354m ²	3,560m ²	5,766m ²	0m ²		

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績												
				2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			
油ヶ淵等 【目標】 ☆湖畔の散歩道において不快に感じなく、水辺で湖底が見られる。 ☆湖内全域で魚が息できる。 ☆川の辺りを眺めたり散策が楽しい <湖内> ○魚、鳥、カエルなど、いろいろな種類の生き物がたくさんいる。 ○透明度30cm以上、透明度1m以上 <流入河川> ○魚の姿がたくさん見える。 ○臭いや、濁りや色が気にならない。	川・里海づくり	油ヶ淵の浄化対策	安城市、知立建設事務所	浄化施設の汚泥処理量（知立建設事務所、安城市）											浄化施設の汚泥処理量 (m³)	
		208m³		209m³	196m³	191m³	144m³	145m³	-	0m³	0m³	0m³	0m³			
		覆砂面積 (ha)（知立建設事務所）											覆砂面積 (ha)			
		-		-	-	-	-	-	-	-	0ha	0ha	0ha	0ha		
		緑生浄化 (m)（知立建設事務所）											緑生浄化 (m)			
		425m		924m	417m	-	65m	200m	-	0m	0m	0m	0m	0m		
		油ヶ淵水辺公園整備	知立建設事務所	整備状況	整備状況											
		一部、工事着手		工事中	平成30年4月29日一部閉 引き続き工事中	平成30年4月29日一部閉 引き続き工事中	平成30年4月29日一部閉 引き続き工事中	平成30年4月29日一部閉 引き続き工事中	令和4年4月1日に一部閉 引き続き工事中	令和5年2月11日に一部閉 引き続き工事中	令和6年4月1日に一部閉 引き続き工事中	令和8年4月1日に一部閉 引き続き工事中				
		港湾環境整備事業	衣浦港務所	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)											
		造成土工1式 排水・給水工1式		多目的広場整備1式 防護柵1式	多目的広場整備1式 トイレ設置1式	-	トイレ設置1式 駐車場整備1式	【緑地整備完了】 多目的広場通路整備1式	-	土系舗装工1式 (2022年度完了)	-	-	-	-		
		油ヶ淵浄化デー(油ヶ淵周辺の清掃活動)	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、東水大気環境課 (※報告機関: 東水大気環境課)	参加人数 (人)	参加人数 (人)											
		4,578人		4,231人	4,103人	4,239人	4,087人	中止	1,356人	1,633人	1,471人	1,288人				
		ごみの量 (kg)												ごみの量 (kg)		
		1,730kg		1,050kg	1,110kg	1,020kg	1,170kg	-	690kg	600kg	500kg	435kg				
		水生生物調査	流域市町、東水大気環境課 (※報告機関: 東水大気環境課)	調査箇所数	調査箇所数											
		1箇所		2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	-	-	0箇所	0箇所	0箇所				
		参加人数 (人)												参加人数 (人)		
		28人	158人	115人	14人	22人	-	-	0人	0人	0人	0人				
		油ヶ淵清流ルネサンスⅡ(油ヶ淵流域水環境モニタリング)	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、東水大気環境課 (※報告機関: 東水大気環境課)	測定回数 (回)	測定回数 (回)											
		平均 6.5 mg/L		平均 6.9 mg/L	平均 6.7mg/L	平均 6.5mg/L	平均 6.6mg/L	平均 6.9mg/L	平均 6.4mg/L	平均 6.7mg/L	平均 6.2mg/L	平均 6.9mg/L				
測定深度 (cm)												測定深度 (cm)				
平均 26.8 cm	平均 27.4 cm	平均 32.9cm		平均 27.5cm	平均 27.8cm	平均 24.0cm	平均 27.5cm	平均 27.3cm	平均 32.0cm	平均 26.4cm						
水質調査	愛知用水土地改良区	調査面積 (ha)	調査面積 (ha)													
0.4ha		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
湿地・湿原の保全	阿久比町	実施回数 (回)	実施回数 (回)													
30回		36回	28回	26回	24回	24回	24回	24回	24回	24回						
参加人数 (人)												参加人数 (人)				
210人	252人	196人	156人	144人	144人	144人	120人	120人	120人							
港湾環境整備事業	川・里海づくり	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)													
-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
矢勝川場防における彼岸花の植栽	半田市	実施回数 (回)	実施回数 (回)													
3回		3回	23回	-	1回	ほぼ毎日	ほぼ毎日 (雨天時は中止)	ほぼ毎日 (雨天時は中止)	ほぼ毎日 (雨天、荒天日除く)	100日程度						
実施箇所数												実施箇所数				
1箇所		1箇所	1箇所	-	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所						
参加人数 (人)												参加人数 (人)				
72人	570人	690人	-	50人	計測せず	計測せず	計測せず	計測せず	計測せず							
環境学習における取組等	半田市	実施回数 (回)	実施回数 (回)													
1回		3回	3回	-	12回	7回	11回	5回	13回	9回						
実施箇所数												実施箇所数				
1箇所		1箇所	1箇所	-	12箇所	7箇所	9箇所	3箇所	12箇所	4箇所						
参加人数 (人)												参加人数 (人)				
100人	199人	193人	-	1016人	575人	979人	456人	829人	171人							
水生生物調査	流域市町、東水大気環境課 (※報告機関: 東水大気環境課)	調査箇所数	調査箇所数													
3箇所		5箇所	10箇所	7箇所	7箇所	-	-	1箇所	6箇所	6箇所						
参加人数 (人)												参加人数 (人)				
54人	74人	80人	81人	249人	-	-	40人	206人	104人							
水質浄化セラミックによる河川の水質浄化【2019終了】	南知多町	実施箇所数	実施箇所数													
1箇所		1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-						
参加人数 (人)												参加人数 (人)				
24人	24人	24人	-	-	-	-	-	-	-							

東三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績										目標 値	目標 年度	指標の説明	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度				
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体 *下水道・集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	汚水処理人口普及率(%)										汚水処理人口普及率(%)	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100
		88.1%	88.6%	89.3%	90.4%	90.7%	91.0%	91.6%	92.5%	92.7%	93.2%				
	下水道の整備 *生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	下水道普及率(%)										下水道普及率(%)	86.7%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
		68.6%	69.3%	70.0%	70.9%	71.2%	72.1%	73.2%	73.8%	74.2%	75.3%				
	高度処理施設の導入(下水道整備の内) *伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	高度処理人口普及率(%)										高度処理人口普及率(%)	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
		46.8%	47.5%	47.2%	48.9%	49.2%	49.9%	50.9%	53.0%	54.8%	55.7%				
	農業集落排水施設の整備 *農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設を保全・維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	農業集落排水処理人口普及率(%)										農業集落排水処理人口普及率(%)	7.5%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
		6.2%	6.1%	6.0%	5.8%	5.6%	5.5%	5.5%	5.4%	5.3%	5.4%				
	合併処理浄化槽の設置 *既存の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)										合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	-	-	-
		13.1%	13.0%	13.2%	13.6%	13.8%	13.3%	12.7%	13.2%	13.0%	12.5%				
		合併処理浄化槽の基数割合(%)										合併処理浄化槽の基数割合(%)	100%	2030	合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		39.3%	40.7%	41.7%	42.4%	43.2%	43.6%	44.6%	45.3%	45.8%	集計中				
	コミュニティプラントの整備 *コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	コミュニティプラント処理人口普及率(%)										コミュニティプラント処理人口普及率(%)	0.12%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
		0.2%	0.24%	0.24%	0.15%	0.15%	0.15%	0.15%	0.14%	0.14%	0.14%				
	干潟・浅場造成事業 *水質・底質の悪化により低下した漁場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	干潟・浅場造成面積(ha)										干潟・浅場造成面積(ha)	471ha	2014 ~2038	干潟・浅場を造成した面積
	1.1ha	0.1ha	1.0ha	1.4ha	1.7ha	2.8ha	3.7ha	8.0ha	7.2ha	7.9ha					
河川等公共用水域水質監視 *公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	河川(BOD)の環境基準達成率(%)										河川(BOD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年	河川BODは東三河地域のみの環境基準達成率	
	100%	100%	100%	100%	100%	90%	100%	100%	100%	100%					
	海域(COD)の環境基準達成率(%)										海域(COD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年	海域CODは渥美湾のみの環境基準達成率	
	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%					
水生生物調査 *身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
	37箇所	28箇所	36箇所	29箇所	30箇所	3箇所	-	15箇所	20箇所	19箇所					
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	591人	533人	633人	411人	723人	8人	-	131人	314人	185人					
流域モニタリング一斉調査 *住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数	
	19箇所	20箇所	25箇所	18箇所	36箇所	43箇所	33箇所	53箇所	37箇所	39箇所					
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	104人	124人	131人	88人	296人	111人	98人	210人	163人	104人					
伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化) *伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	施策実施状況(件)										施策実施状況(件)	継続 実施	継続 実施	各機関の施策実施状況	
	217件	218件	219件	219件	219件	219件	219件	221件	221件	221件					
三河湾環境再生プロジェクト *美しい川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高めるため、「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」と連携・協働し、三河湾の環境再生について関心を深める事業を実施するとともに、NPO等の活動支援を行う。	サポーター数(人)										サポーター数(人)	継続 実施	継続 実施	サポーター数	
	375人	649人	1,025人	1,284人	1,924人	2,126人	2,295人	2,724人	3,313人	3,699人					
河川・海岸の清掃 *きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施回数(回)										実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
	167回	142回	187回	133回	37回	37回	33回	36回	54回	84回					
	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年		
	134箇所	206箇所	246箇所	212箇所	147箇所	155箇所	75箇所	85箇所	35箇所	41箇所					
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	23,237人	28,954人	28,134人	18,427人	7,183人	7,224人	5,143人	4,529人	4,075人	5,441人					

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績										目標 値	目標 年度	指標の説明	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度				
豊かな水	森林の整備 ・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	間伐面積(ha)										間伐面積(ha)	4,000ha (県域)	2016 ～2020	間伐を実施した面積
	2,397ha	2,497ha	1,845ha	1,881ha	1,508ha	1,259ha	1,206ha	1,211ha	967ha	1,054ha					
	水源地域の森林整備 ・(公財)豊川水源基金の水源林対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備及び作業路新設への助成を行う。	間伐面積(ha)										間伐面積(ha)	継続 実施	単年	間伐を実施した面積
	339.8ha	368.2ha	363.0ha	344.4ha	371.5ha	289.0ha	289.0ha	248.0ha	206.3ha	232.5ha					
	雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む) ・降雨時における雨水流出抑制を図ることに伴い河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不用となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	雨水貯留施設の設置数										雨水貯留施設の設置数	継続 実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	31基	22基	10基	2基	9基	10基	142基	147基	152基	156基					
		雨水貯留浸透施設設置補助件数										雨水貯留浸透施設設置補助件数	継続 実施	単年	
54件	30件	53件	34件	42件	54件	28件	30件	17件	70件						
ため池の保全 ・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	整備箇所数										整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数	
	23箇所	104箇所	247箇所	98箇所	94箇所	93箇所	91箇所	90箇所	93箇所						
透水性舗装の推進 ・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。	整備面積(m ²)										整備面積(m ²)	継続 実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積	
965m ²	1,978m ²	10,850m ²	1,348m ²	920m ²	3,725m ²	4,292m ²	1,783m ²	585m ²	1,882m ²						
多様な生態系	多自然川づくり ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	整備延長(km)										整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	3.3km	1.0km	0.9km	-	1.3km	2.2km	4.0km	4km	2km	3km					
	干潟・浅場の保全・再生(再掲「きれいな水」) ・多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	干潟・浅場達成面積(ha)										干潟・浅場達成面積(ha)	471ha	2014 ～2038	干潟・浅場を達成した面積
	1.1ha	0.1ha	1.0ha	1.4ha	1.7ha	2.8ha	3.7ha	8.0ha	7.2ha	7.9ha					
	水生生物調査(再掲「きれいな水」) ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
	37箇所	28箇所	36箇所	29箇所	30箇所	3箇所	-	15箇所	20箇所	19箇所					
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年	
	591人	533人	633人	411人	723人	8人	-	131人	314人	185人					
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」) ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施回数(回)										実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	167回	142回	187回	133回	37回	37回	33回	36回	54回	84回					
	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年		
134箇所	206箇所	246箇所	212箇所	147箇所	155箇所	75箇所	85箇所	35箇所	41箇所						
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
23,237人	28,954人	28,134人	18,427人	7,183人	7,224人	5,143人	4,529人	4,075人	5,441人						
ため池の保全(再掲「豊かな水」) ・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	整備箇所数										整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数	
	23箇所	104箇所	247箇所	98箇所	94箇所	93箇所	91箇所	90箇所	93箇所						
ふれあう水辺	多自然川づくり(再掲「多様な生態系」) ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	整備延長(km)										整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	3.3km	1.0km	0.9km	-	1.3km	2.2km	4.0km	4km	2km	3km					
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」) ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施回数(回)										実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	167回	142回	187回	133回	37回	37回	33回	36回	54回	84回					
		実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	
134箇所	206箇所	246箇所	212箇所	147箇所	155箇所	75箇所	85箇所	35箇所	41箇所						
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
23,237人	28,954人	28,134人	18,427人	7,183人	7,224人	5,143人	4,529人	4,075人	5,441人						

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績																		
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			
豊川・天竜川等流域	まちづくり	学校における環境教育(豊川流域における体験学習) 【第3次計画まで】 ・夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる豊川について体験を通じて学習する。 ・申し込みのあった小中学校等に出向き出前講座を実施する。	豊川市	実施回数(回)	4回	4回	5回	5回	4回	8回	5回	4回	6回	-	6回	0回	-	-	-	-		
				実施件数	-	-	5箇所	5箇所	4箇所	8箇所	5箇所	4箇所	6箇所	-	6箇所	0箇所	-	-	-	-		
				参加者数(人)	322人	322人	226人	95人	78人	151人	107人	79人	136人	-	141人	-	-	-	-	-	-	
		生涯学習推進・魅力増進【2024年度新報】 ・本法人の活動を拡げ運動へと昇華させるべく、且つ共通性を増やすために次世代の担い手である青少年への啓発活動として、市内の朝倉川流域(小中高校)を実施する。	朝倉川青水フォーラム	実施回数(回)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
				実施件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				参加者数(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		川・里海づくり	朝倉川の環境啓蒙 ・朝倉川に環境の指標生物であり人々の関心をさそふホタルがつかつてのよう「自生する状態を実現することを目指し、市民・企業・行政の三者のパートナーシップにより河川の再生と地域環境改善を図る。	朝倉川青水フォーラム	参加者数(人)	3,300人	3,280人	2,300人	3,100人	2,850人	3,221人	2,500人	3,000人	2,361人	-	-	-	3,000人	2,050人	1,785人	1,800人	
					実施回数(回)	9,000kg	3,000kg	3,800kg	3,500kg	3,110kg	5,510kg	2,200kg	2回	2回	-	-	-	2回	2回	2回	2回	2回
					実施件数	-	-	-	-	-	-	-	2箇所	2箇所	-	-	-	1箇所	朝倉川至川寺門橋~多米橋	朝倉川至塚之内山川合流付近	朝倉川全域と内山川合流付近	朝倉川全域と内山川合流付近
			川と海のクリーン大作戦 ・閉鎖性水域である三河川の浄化を目的とした流域河川の清掃を行う。	豊川市、豊橋河川事務所(報告機関:市町村)	実施回数(回)	3回	4回	8回	8回	8回	7回	4回	3回	2回	3回	2回	3回	-	2回	2回	2回	2回
	実施件数				36箇所	44箇所	39箇所	37箇所	45箇所	68箇所	73箇所	57箇所	69箇所	63箇所	8箇所	76箇所	-	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所	
	参加者数(人)				4,826人	8,062人	4,904人	4,905人	2,766人	4,362人	5,078人	5,387人	4,093人	3,040人	455人	4,644人	-	430人	431人	388人	388人	
	しんしんクリーンフェスタ ・市民、事業者、行政が協働で清掃活動に取り組み、美しいまちづくり、市民の環境保全に対する意識の高揚等を図る。		新城市	実施回数(回)	2回	2回	2回	2回	1回	1回	1回	1回	1回	2回	2回	122回	137回	120回	103回	103回		
				実施件数	23箇所	20箇所	21箇所	21箇所	10箇所	13箇所	39箇所	79箇所	52箇所	80箇所	114箇所	74箇所	104箇所	137箇所	120箇所	103箇所	103箇所	
				参加者数(人)	3,958人	4,215人	3,889人	4,153人	2,199人	1,602人	2,576人	3,539人	1,546人	3,752人	4,281人	4,484人	6,154人	8,496人	7,110人	5,060回	5,060回	
	水生生物調査 ・身近な自然ふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広水環境保全の普及啓発を実施する。		浜城市、豊橋河川事務所、豊水大気環境課(報告機関:豊橋河川事務所、豊水大気環境課)	実施回数(回)	20箇所	15箇所	26箇所	27箇所	24箇所	19箇所	30箇所	26箇所	27箇所	22箇所	22箇所	3箇所	-	10箇所	13箇所	12箇所	12箇所	
		実施件数		454人	441人	607人	535人	512人	551人	486人	471人	515人	280人	700人	8人	-	131人	273人	153人	153人		
		参加者数(人)		2回	3回	2回	3回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	-	-	-	-	-	1回(河川調査4回、市民参加調査1回を含む。)	市民参加調査4回、市民参加調査河川調査1回を含む。)	市民参加調査4回、市民参加調査河川調査1回を含む。)	
	子どもの環境・調査 ・地域の環境改善の象徴として、市街地を流れる多くの市流に親しまれている朝倉川に、環境の指標生物であり人々の関心をさそふホタルがつかつてのよう「自生する状態を実現することを目指し、市民・企業・行政の三者のパートナーシップにより河川の再生と地域環境改善を図るための具体的な活動を行う。	朝倉川青水フォーラム	実施回数(回)	30人	50人	50人	40人	10人	20人	50人	50人	100人	-	-	-	-	-	-	120人	120人		
			実施件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
参加者数(人)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
生息魚調査を市民参加で【2024年度新報】 ・豊川水系では水質開発により川床をつくる確の低下が長期にわたり途絶しており、生息魚等への影響が懸念されている。市民参加で生息魚(生物)の調査を実施する。	豊川上流水質調査会	実施回数(回)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		実施件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		参加者数(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
豊川市	学校における環境教育(豊川流域における体験学習)(再掲) 【第3次計画まで】 ・夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる豊川について体験を通じて学習する。 ・申し込みのあった小中学校等に出向き出前講座を実施する。	豊川市	実施回数(回)	4回	4回	5回	5回	4回	8回	5回	4回	6回	-	6回	0回	-	-	-	-			
			実施件数	-	-	5箇所	5箇所	4箇所	8箇所	5箇所	4箇所	6箇所	-	6箇所	0箇所	-	-	-	-	-		
			参加者数(人)	322人	322人	226人	95人	78人	151人	107人	79人	136人	-	141人	-	-	-	-	-	-		
	川に隣する 出前講座 ・小学校・中学校において、川の役割(治水・利水・環境)と身近な川の水質改善の重要性を学ぶ。 ・生活排水が川や湖を汚す大きな原因となっていることについて理解を深め、自分たちでできることは何かを考え、実践してもらうため、豊富な実践を交えた講座であり、臨場感あふれた小中学校等に出向き実施している。	豊川市	実施回数(回)	5回	2回	-	-	5回	4回	6回	6回	6回	0回	5回	3回	3回	1回	1回	1回			
			実施件数	5箇所	2箇所	-	-	5箇所	4箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	0箇所	5箇所	3箇所	3箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
			参加者数(人)	95人	209人	-	-	107人	79人	136人	171人	141人	141人	-	143人	84人	148人	25人	25人	25人		

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実績															
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
三河湾沿岸域 (豊川・蒲郡等)	森づくり	分岐育林推進(新編) ・水源地の健全・かん養(分岐育林)という形でお手伝いする。 ・上・下流域の交流を通して相互の理解を深め、水の大切さの理解を深める。	豊都市、田原市、設楽町	32.9ha	16.1ha	32.9ha	16.7ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	46.3ha	46.3ha	36.9ha	
		環境財の利用推進(新編) ・環境財の利用を通じて水の大切さ、水源林保全の大切さを伝えるとともに、上下流域の交流を図る。	豊都市	920,000円	856,738円	920,000円	920,000円	920,000円	830,000円	920,000円	920,000円	920,000円	920,000円	920,000円	920,000円	920,000円	920,000円	920,000円	920,000円
		小学生自然体験・野外学習推進(2021終了) ・森林の恵み(水源地等)や森林整備の重要性等についての出前授業等に活用する。	(NPO)豊の国森づくりの会 2021年度まで	4回	3回	1回	1回	4回	4回	1回	3回	2回	1回	-	6回	8回	-	-	-
		水源地域交流推進(豊川流域における上下流域交流)(新編) ・下流域である蒲郡市長と上流域の新城市長(農業地区)、設楽町市長が相互に訪問して、相互の理解・文化等を理解するための交流を行う。	豊都市、新城市、設楽町	5回	5回	4回	9回	8回	9回	9回	7回	7回	4回	3回	0回	0回	2回	4回	5回
		豊川流域における上下流域交流(2015終了)(新編) ・交流拠点施設(あいの里(グリーンメッセ)-設楽町(田原長村地)の施設)を推進。	田原市	約156人	356人	731人	467人	966人	984人	1,250人	303人	310人	128人	95人	0人	0人	91人	162人	235人
				1,798人 (市長439人)	1,445人 (市長324人)	1,342人 (市長391人)	2,002人 (市長429人)	1,821人 (市長384人)	1,702人 (市長410人)	1,632人 (市長1,031人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		【目標】 ☆自然と歴史と文化が調和したふれあい空間としての水源地 ☆多様な生き物が豊か ○水が豊かで散歩などが楽しめる豊川にすくわ川 ○豊川水環境の抑制や干渉の軽減など生物の生息環境の改善	まちづくり	蒲郡市外戸廻り推進助成金 ・井戸水の効率的利用の促進、節水意識向上を図るため、公益目的の活用等に助成する。	豊都市	-	-	-	-	1件	1件	-	-	-	-	-	0件	0件	0件
環境学習推進の取組 ・夏休み期間中に小学校高学年を対象に参加者を募集し、市内を流れる川について体験を通じて学習する。	豊川市																		
				1回	3回	3回	1回												
				15箇所	3箇所	3箇所	1箇所												
				15人	84人	148人	21人												
				-	-	-	-												
				-	-	-	-												
				-	-	-	-												
				-	-	-	-												
				-	-	-	-												
川・里海づくり	水環境整備推進	・排水の整備を行い、憩いの場の創出を図る。	三河港務所	0.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		・三河湾に点在する遼深層地等を埋め戻し、異種着水種の発生を抑える。	三河港務所	5.3ha	5.4ha	5.3ha	3.5ha	2.9ha	1.6ha	1.0ha	36ha	1.1ha	-	-	-	1.6ha	3ha	1.4ha	
川・里海づくり	水生生物調査	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町、豊水大気環境課 (報告機関: 豊水大気環境課)	6箇所	4箇所	7箇所	5箇所	6箇所	8箇所	6箇所	5箇所	4箇所	7箇所	-	-	5箇所	6箇所	6箇所	
				105人	16人	67人	72人	77人	107人	100人	106人	12人	12人	13人	-	-	20人	12人	27人

